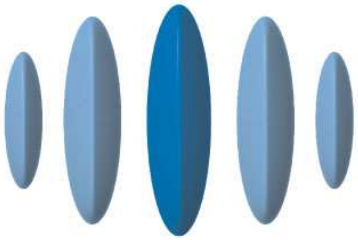


oricon

2006年3月期中間決算説明会

Nov 29 , 2005

会社概要 （2005年9月30日現在）

■ 社　名：	オリコン株式会社 （旧社名：株式会社おりこんダイレクトデジタル）
■ 設　立：	1999年10月1日
■ 株式上場：	2000年11月6日　大阪証券取引所ヘラクレス市場
■ 資本金：	1,070,695千円
■ 事業内容（連結）：	音楽市場調査、音楽楽曲データベース提供、携帯電話向けデジタルコンテンツ提供、 雑誌・書籍出版、インターネット向けコンテンツ配信、通信販売　等
■ 従業員数：	連結205名
■ 主な連結子会社：	オリコン・エンタテインメント㈱、オリコンDD㈱、オリコン・モバイル㈱、オリコン・サウンド・ クリエイツ㈱、オリコン・ワールドエージェンシー㈱、CINEWELCOM CO.,LTD、 フランクリン・ミント（株）
■ 代表取締役 及び社外取締役：	**代表取締役社長** **兼　CEO　　小池　恒** 取締役（非常勤）　松尾修吾（元・ソニー・ミュージックエンタテインメント社長,会長、元・レコード協会会長）
■ 主幹事証券：	日興コーディアル証券
■ 主要取引銀行：	三井住友（新橋）、みずほ（六本木）、東京三菱（六本木）、東京都民（本店）

株式情報　（2005年9月30日現在）

■ 発行済株式数：　160，110株

■ 総議決権数：　155，868個

2005年6月20日付をもって普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。

■ 大株主の状況：
（2005年9月30日現在）

氏名または名称	持ち株比率（%）
（有）リトルポンド	33．15
小池　恒	11．29
小池秀効	2．61
大阪証券金融（株）	2．54
小池結実	2．25
日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）	2．24
小池尚子	1．88
（株）ディーエイチシー	1．57
ヤフー（株）	1．50
日本トラスティ・サービス信託銀行（株）（信託口）	1．37
（株）角川ホールディングス	1．35
ﾋﾞｰﾋﾞｰｴｲﾁﾙｸｽﾌｨﾃﾞﾘﾃｨﾌｧﾝｽﾞｼﾞｬﾊﾟﾝｽﾓｰﾗｽｶﾝﾊﾟﾆｰｽﾞ	1．00
ｻﾞﾁｪｰｽﾏﾝﾊｯﾀﾝﾊﾞﾝｸｴﾇｴｲﾛﾝﾄﾞﾝ	0．98

（注）当社は自己株式4，230株（2．64%）を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の表からは除外しております。

中間決算の概要

平成18年3月期中間決算　連結P/L

（2005年4月1日～2005年9月30日）

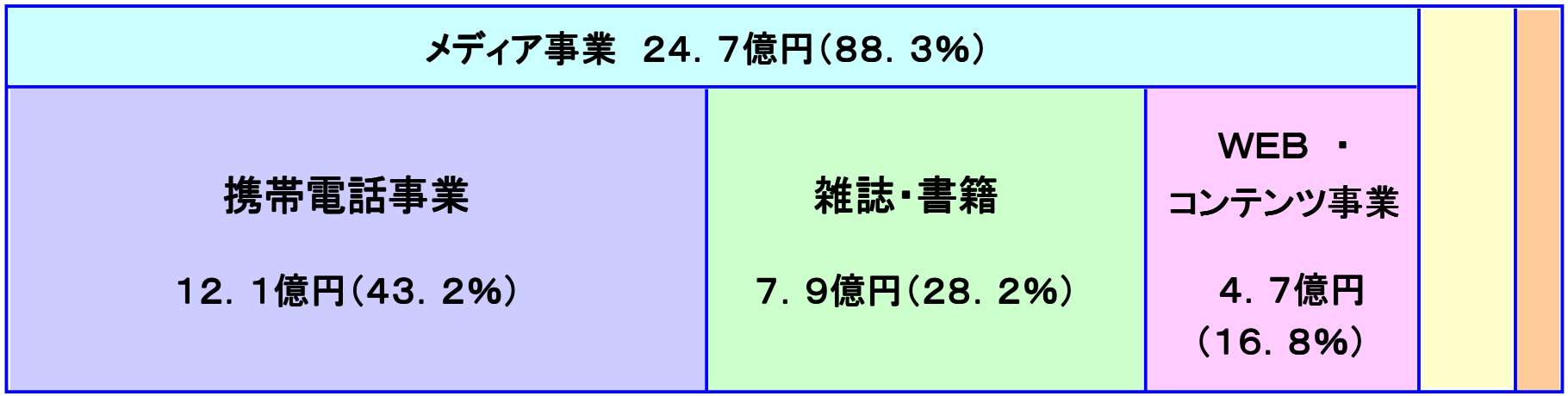
（単位：千円）	当中間会計期間 4/1/05～9/30/05	（比率）	対前年同期比	前中間会計期間 4/1/04～9/30/04	（比率）	前期通期 4/1/04～3/31/05	（比率）
売上高	2,796,942	100%	98.3%	2,843,959	100%	5,873,377	100%
データベース事業	219,180	7.8%	125.6%	174,526	6.1%	384,626	6.6%
メディア事業	2,469,486	88.3%	93.0%	2,655,584	93.4%	5,404,749	92.0%
その他事業	108,275	3.9%	—	—	—	—	—
ﾊﾟﾄﾘｽ・ﾌｧｰﾌﾞﾙ事業	—	—	—	13,848	0.5%	84,001	1.4%
売上原価	1,588,263	56.8%	88.7%	1,790,133	62.9%	3,754,293	63.9%
差引売上総利益	1,208,679	43.2%	114.7%	1,053,826	37.1%	2,119,084	36.1%
販管費	839,444	30.0%	86.0%	975,839	34.4%	1,962,599	33.4%
営業利益	369,234	13.2%	473.5%	77,986	2.7%	156,484	2.7%
経常利益	372,119	13.3%	543.7%	68,440	2.4%	131,958	2.2%
当期利益	229,913	8.2%	—	8,827	0.3%	31,793	0.5%

中間決算の業績に影響を及ぼした大きな要因

①㈱ﾌﾛｰﾊﾞ、ﾊﾟﾄﾘｽ･ﾌｧｰﾌﾞﾙ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ㈱ が連結除外となったことによる売上減があったものの、新たに連結子会社化したCINEWELCOM CO.,LTD、ｵﾘｺﾝ･ｻｳﾝﾄﾞ･ｸﾘｴｲﾂ㈱、ﾌﾗﾝｸﾘﾝ･ﾐﾝﾄ㈱ の売上が加わり、更に「ORICON STYLE」サイトおよび音楽系雑誌の広告の伸びが寄与し、売上は前年同期並みとなった。

②前期間では音楽配信プロジェクト立ち上げに伴う先行投資（サイトリニューアル費用など）が生じたが、当期間には発生せず、更に雑誌の印刷費やデザイン料などのコスト削減によって売上原価を抑えることができたことで、大幅な増益となった。また、投資有価証券売却益を計上したことも経常利益増の要因となった。

売上の内訳と前年同期からの変動要因



前年同期からの大きな変動要因

（株）フローバの連結解除	－7．7億円
WEB・コンテンツ事業の本格化	＋4．4億円
フランクリン・ミント社	＋1．1億円

平成18年3月期業績予想(連結)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通　期	7,100	700	415

当中間会計期間における業績は概ね計画通りに進捗しており、平成17年6月7日に開示した通期の業績予想に修正はありませんが、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定です。

今後の増収要因

〇フランクリン・ミント社の営業が第3Qより本格化し、例年、クリスマスシーズンが年間売上のピークとなる。
〇「ORICON　STYLE」サイトの広告売上が増加する。
〇CINEWELCOM 社のVODサービスでK－1コンテンツの売上が伸びる。
〇12月に「ORICON　STYLE」サイトにゲーム、アニメなどのコンテンツが追加される。
〇12月より「Mora」との提携で音楽配信の楽曲ラインナップが拡充される。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

携帯電話向けコンテンツ

有料会員総数が依然として微減傾向　→　2005年9月：約165万人（前年同期比：90.7%）

- 2005年7月に開設した着うた® 専門サイト「オリコンスタイル」の楽曲ラインナップを充実させ、売上増へ。
- 2005年5月に開設したクラブ系音楽を中心とした着うたフル™ サイト「オリコン洋楽タウン」のコンテンツの拡充を図り、新規会員獲得を推進。
- WEB上で着信メロディ、着うた® を検索できる「オリコン・モバイルWEBサイト」を「ORICON STYLE」サイト内に設けており、「ORICON STYLE」サイト来訪者への告知・誘導を強化させ、携帯コンテンツの拡販を促進。

会員数減を食い止めた上で、携帯電話がIP網と接続可能になる場面を見越し、コンテンツの多角化・メディア力の強化・顧客満足の向上を図って参ります。

雑誌メディア

当期上期の成果

印刷費、デザイン料などのコスト削減を断行したことが利益増に寄与

音楽系雑誌の広告販売が堅調

コンテンツ　　広告メニュー

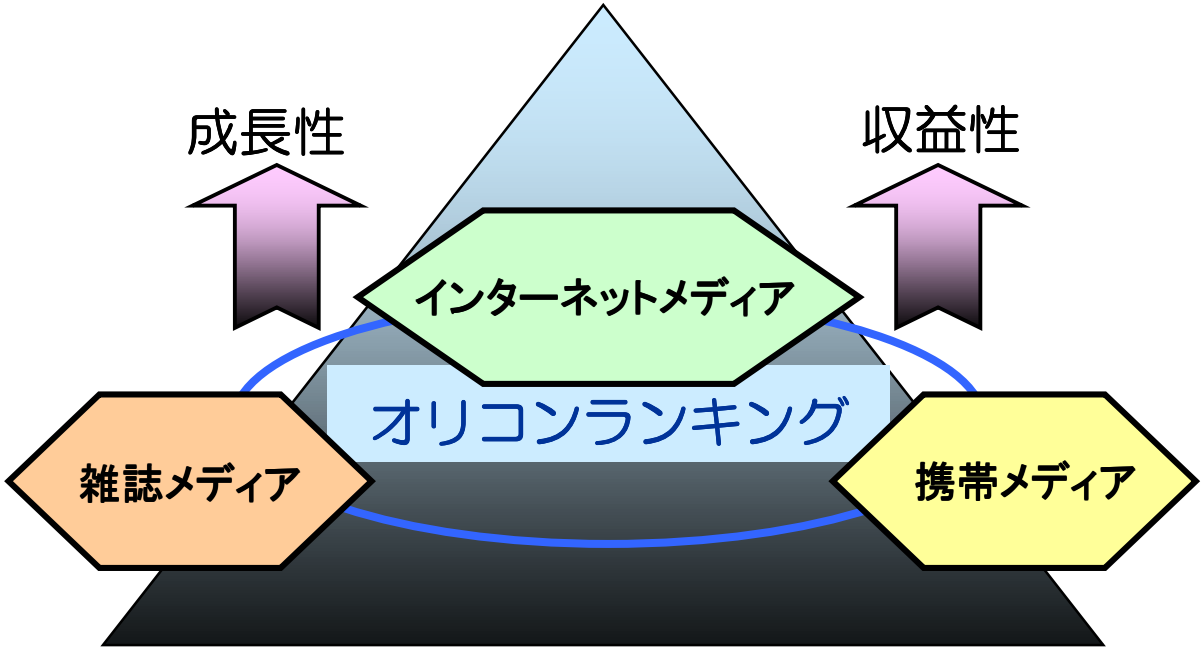
インターネットメディアとの連動を強化

インターネット向けコンテンツを確保する上でも、雑誌メディアを持つことの優位性が活きる。

インターネットメディア事業の現状と今後の展開

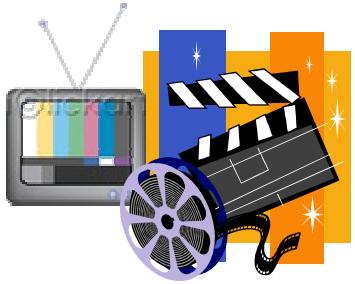
経営の基本方針

当社グループは音楽文化ならびにエンタテインメントの発展に貢献することを社是としております



成長と変化の著しいインターネットの分野において、通信と放送の融合、通信とディストリビューションの融合など様々な新規の事業形態が見出されようとされる中、これらの変化に先んじて、インターネットメディアの可能性を独自に見極め、先駆的な事業を積極的に推進させることで、新たな市場を創造して参ります。

ランキングを中心としたエンタテインメント・ポータルサイトを構築

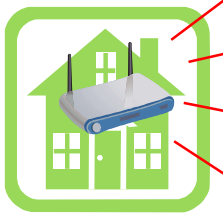


Movie

Ranking

Search Engine

Music



Distribution

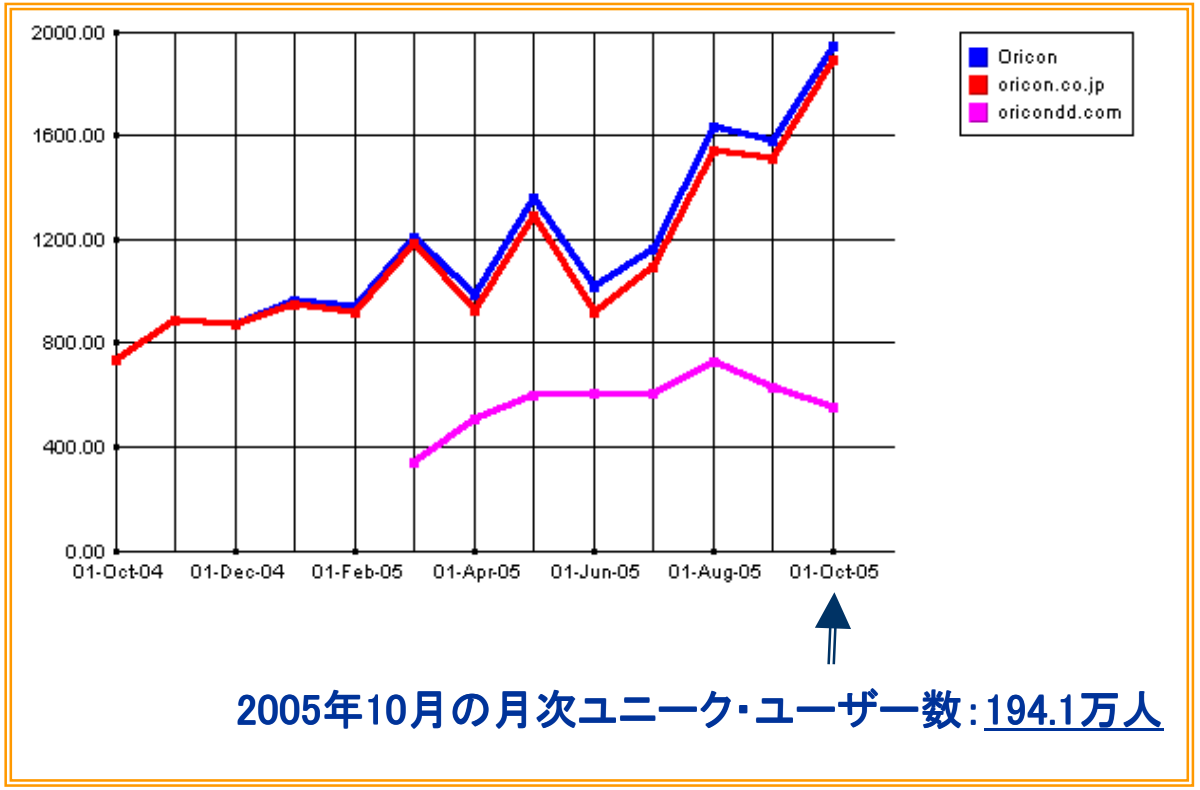
Game

Animation

Entertainment News ＆Topics

「ORICON STYLE」サイト

2005年10月26日にエンタテインメント・ポータルサイトとして全面リニューアル



2005年10月の月次ユニーク・ユーザー数：194.1万人

出所：ネットレーティングス社・トレンドレポート

「ORICON STYLE」サイトのコンテンツの拡充

Phase 1（’05.10）

・デザインの刷新

・WEBﾌﾞﾛｰﾄﾞｷｬｽﾃｨﾝｸﾞ開始

・ﾆｭｰｽｶﾃｺﾞﾘｰの充実

・RSS技術の導入

・ｱｰﾃｨｽﾄ情報ﾍﾟｰｼﾞの充実

Phase 2（’05.12）

・音楽配信でﾚｰﾍﾞﾙｹﾞｰﾄと提携したｻｰﾋﾞｽを開始

・ゲームコンテンツを追加

・ｱﾆﾒｰｼｮﾝﾍﾟｰｼﾞを開設し、ｱﾆﾒ系番組の配信を開始

Phase 3 （’06.3）

・SNSの機能の追加

・音楽データベースの統合

・ﾏﾙﾁﾐｭｰｼﾞｯｸﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾍﾟｰｼﾞの開設

・映像番組、音声番組の拡充

●自社オリジナルコンテンツを充実

●他社との提携を通したコンテンツ提供機能の強化

WEBブロードキャスティング

コンテンツ～更新性
↓
サイト来訪を習慣化

サイトユーザーの定着と拡大

既に「ORICON TOP20」は、１日約４０万ストリーミングのペースで進捗。国内最多のユーザーを擁す番組へ進展。

当社グループがWEB専門に独自に制作した映像番組や音声番組を中心に、無料でオン･デマンド配信することが特徴

「オリコン」だから配信可能な音楽番組

「ORICON TOP 20」 ： 最新のオリコンチャートベスト20曲を5分でチェックできるWEB専用音楽映像番組。PVを中心に構成。新人アーティスト紹介のコーナーも有り。毎週水曜日更新。

「ORICON TOP 40」 ： 最新のオリコンチャートベスト40曲を紹介するストリーミング形式の音声音楽番組。今後、ストリーミング中に楽曲ダウンロード、もしくはCDパッケージの購入を可能にする機能を追加する予定。毎週水曜日更新。

2005年12月中旬より大半の楽曲が配信可能になる予定。

これ程多くのﾚｺｰﾄﾞﾚｰﾍﾞﾙにご協力いただいて配信できるのは、当社のみ。

「キム・ユンアのミュージック・ウェーブ」
： 韓国SBSで人気の音楽番組。オリコンがヒットチャートの提供や日本人アーティストの紹介等で協力。韓国の地上波TVの音楽番組が日本のWEBサイトで配信される初のケース。2005年11月28日より配信開始。毎週月曜日更新。

携帯電話がIP網と接続可能になる場面を想定して、コンテンツの多角化を推進。

音楽配信

現在、月次5．5万曲～6万曲のダウンロード数で推移

2005年12月中旬より（株）レーベルゲートと提携したサービスを開始

○配信可能楽曲のラインナップが格段に充実

○WMA形式にもATRAC形式にも両方対応する唯一のサイト（レコードが独自に運営するサイトを除く）

ユーザーの利便性の向上

ダウンロード数の拡大

マルチミュージックダウンロードサイトのイメージ

ユーザーは楽曲毎にパソコン用でも携帯電話用でもコンテンツをダウンロードできる

CINEWELCOM 社

韓国で人気の高いK-1コンテンツの韓国国内での配信化権を獲得

新規会員獲得に寄与するのみならず、韓国内のポータルサイトへのサブライセンスによる販売も加わり、今期下期の売上増

フランクリン・ミント社

■2005年5月より当社の傘下に
■WEBサイトでの販売を強化（2005年8月に全面リニューアル）
■従来からの優良顧客に再購入を促すためのダイレクトマーケティングを推進
→ 今期下期より本格的に再稼動

オリコン株式会社

IR用ホームページ　　http://www.oricon.jp/

「ORICON STYLE」(ｴﾝﾀﾃｲﾝﾒﾝﾄｺﾝﾃﾝﾂ･ﾎﾟｰﾀﾙｻｲﾄ)
http://www.oricon.co.jp/

この資料に掲載されている今後の戦略・見通し等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。